

## 2019年度事業報告

自 2019年 4月 1 日

至 2020年 3月31 日

### 公益目的事業

視能障害防止および眼保健衛生の普及・啓発を図ることによって国民の健康維持向上に寄与することを目的とした健診・調査・広報・出版・災害時支援事業と、視能に関する学問・技術の発展と優れた人材育成を図ることによって臨床現場で質の高い医療を提供することを目的とした学会・講習研修・教育事業

#### 【1】国民への眼保健衛生の普及・向上に関する事業

##### 1. 健診に関する調査・支援事業（以下、健診事業）

- (1) 新生児から成人に至るまでの視覚に関する情報をインターネットホームページに掲載した。
- (2) 視覚感受性期にある乳幼児を対象とした「目の健康チェックシート」をインターネットホームページに引き続き掲載（ダウンロード可能）するとともに、当該文書を各市区町村医療センターへ配布し、乳幼児期に発見し治療すべき疾患への注意を促した。
- (3) 三歳児健康診査での眼科検査方法を解説した「三歳児眼科健診マニュアル」をインターネットホームページに引き続き掲載し（ダウンロード可能）、三歳児健康診査の検査技術及び精度の地域格差を改善した。
- (4) 三歳児健康診査における家庭視力検査方法を解説した動画を作成し、インターネットホームページに掲載の準備をした。これにより三歳児健康診査での異常検出精度の向上に努めた。
- (5) 成人以降に発症する眼疾患への注意を促すための成人版「目の健康チェックシート」として「あなたの目、本当に大丈夫ですか？」をインターネットホームページに引き続き掲載（ダウンロード可能）するとともに、リーフレットを活用し、国民に眼保健衛生の重要性を伝える取り組みを行った。
- (6) 第3回三歳児健康診査従事者のための研修会を開催した。  
2020年2月2日（日） TKPガーデンシティ大阪リバーサイドホテル（大阪）  
参加者 173名（視能訓練士 130名 保健師 37名 看護師 2名 医師 1名 その他 3名）
- (7) 超高齢化社会における中途視覚障害者の増加に伴い、質の高いロービジョンケアを提供するため、視能訓練士のロービジョンケア知識技術の向上に努めた。
- (8) 国立障害者リハビリテーションセンターで開催される「視能訓練士ロービジョン研修会」に協力した。

##### 2. 広報事業

- (1) インターネットホームページ等を通じて社会へ眼保健衛生の啓発と推進を行った。
- (2) インターネットホームページに倫理規程を公示し、視能訓練士の職業倫理の高揚と業務への責任を喚起する活動を行った。
- (3) 協会ポスターとリーフレット、動画を会員や関連諸団体へ配布、案内して「視能訓練士」の名称および職務を国民に向けて広報した。
- (4) 全国で開催される「目の愛護デー」関連事業へ参加協力し、眼保健衛生の普及・向上に努めた。特に東京都においては、東京都眼科医会が主催するTokyo Eye Festivalに参加し、視機能に関するトピックスを来場者に紹介することを通じて、視能訓練士がQuality of visual life に果た

す役割を広くアピールした。

2019年 10月12日（土）・13日（日）：新宿西口イベント広場

参加した視能訓練士 18名 来場者 延べ 962名

台風19号の影響により12日は中止、13日は12：45～

- (5) 東京都看護協会がナイチンゲール生誕記念事業として主催する「看護フェスタ」へ参加し、来場者の視力検査を行い、眼疾患を啓発するパンフレットおよび視能訓練士に関するリーフレットを配布した。

2019年 5月18日（土）：新宿西口イベント広場

参加団体 13団体 来場者 1421名

視能訓練士協会より南雲会長、丸林理事、会員2名、関谷事務局長、合計5名参加した。

視力検査300名実施、視覚障がい体験・緑内障早期発見の啓発など200名実施した。

- (6) 中学生・高校生に対しては積極的に視能訓練士の職務を紹介し、視能矯正学を学ぶ学生に対しては本協会の事業を紹介するJACOメイト制度を活用し、早期から本職や本協会への興味や理解を促した。
- (7) 他団体の職業紹介関連事業を通じて中学生・高校生に向けた視能訓練士の職業紹介動画をインターネット動画視聴サイト、およびホームページに掲載し、視能訓練士を目指す中高生や養成校に周知し活用した。
- (8) インターネットホームページの拡充を行った。

### 3. 調査事業

- (1) 視能矯正・訓練普及の実態調査を行った。
- (2) 視機能の病態および視能矯正の実態調査を行った。
- (3) 視能訓練士実態調査報告書のためのアンケート調査の実施および集計を行った（発行は2020年度内に実施予定）。
- (4) 新規免許取得者の就業状況調査を行い、就業傾向を把握した。
- (5) 日本視能訓練士協会定款施行規則を検討し、必要に応じて改定した。
- (6) 視能訓練士雇用状況調査、雇用推進に向け準備を行った。
- (7) 日本視能訓練士協会の知名度向上調査会議を行った。

### 4. 渉外事業

- (1) 国内関係諸団体との相互の協力について交流を密にした。
- 1) 監督官庁（内閣府）及び関係官庁（厚生労働省・文部科学省）へ、協会の現況について連絡交流を図った。
- 2) 研究諸団体（日本眼科医会・日本眼科学会・日本弱視斜視学会・日本眼光学学会・日本小児眼科学会・日本ロービジョン学会・日本視野画像学会等）と学術・技能向上の提携交流を図った。
- 3) 医療研修推進財団・国際医療技術財団・医療技術者21団体協議会・東京都医療従事者ネットワーク連絡会等に参加し、医療技術者団体間の交流を図り、医療技術者の相互理解を深めた。
- 4) 国民医療推進協議会へ参加し、参加団体と協力して国民皆保険制度を守る活動を行った。
- 5) チーム医療推進協議会へ参加し、医療技術者団体間の連携を深め、医療技術者の社会的地位向上と超高齢化社会に適応したチーム医療の推進に向けた活動を行った。

- (2) 国外の視能矯正学分野・視能訓練士に関係する団体と交流し、知識・技術の提携を行った。
- 1) 国際視能矯正協会代表者会議に出席した。  
国際視能矯正協会(IOA)理事会 チュニジア開催であるが外務省海外渡航安全情報により危険地域レベル1のためインターネットを介して参加した。
  - 2) 視能訓練士の技術向上・技術提携のための海外における視能訓練士の実態調査の検討をした。
  - 3) 視能訓練士協会として日本の視能訓練士の特色を活かした国際協力の方策を検討した。
- (3) 国内の視機能に関係する団体および学会への後援を通し協力することで知識・技術の向上を図った。
- 1) 第8回日本視野画像学会学術集会（大阪）  
第20回日本ロービジョン学会学術総会（東京）  
第28回視覚障害リハビリテーション研究発表大会（岩手）を後援することで協力した。
  - 2) 光学と眼鏡に関する研修会を後援し、次年度の開催準備に協力した。  
2019年 8月3日(土)・4日(日) 眼光学チュートリアルセミナー  
参加者：177名（視能訓練士111名 医師17名 その他49名）
- (4) 地域ブロック会議を開催し、各地域ブロックでの現状把握を行い、災害時の安否確認等、地域の連携を強化した。
- (5) 日本視能訓練士協会の戦略企画会議を行った。
- (6) 2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催にあたり、協力体制を整備した。

## 5. 出版事業

- (1) 日本視能訓練士協会誌（学術論文集、第48巻）を雑誌として発刊し、電子ジャーナル（J-STAGE）を公開した。
- (2) 日本視能訓練士協会会報（第133号、第134号）を2019年10月と2020年3月に発行した。
- (3) 日本視能訓練士協会設立50周年記念誌の出版準備を行った。

## 6. 災害時支援事業

- (1) 東日本大震災を契機に発足した眼科医療活動「日本眼科災害対策会議」へ参加協力し、今後起こりうる災害を想定し、被災者を対象とした眼科検診を検査面から支援を行った。
- (2) 「視覚障害者の災害に備えた連絡会議」への参加協力し、今後起こりうる災害時に視覚障害者への支援活動に対し関連団体が連携し、より効率的な支援を行った。
- (3) 首都圏で大規模災害が発生した際、公益目的事業を遂行できるように事務局内の環境整備を行い、かつ会員の安否状況や被害状況を把握し迅速に対応できるよう災害対策マニュアルの策定および事務局環境整備を行った。

## 【2】国民に良質で安全な医療技術を提供するための視能訓練士教育事業

### 1. 学会事業

- (1) 日本視能矯正学会を開催し、次年度以降の学会開催準備を行った。
  - 1) 第60回（2019年）学会準備及び開催  
会期：2019年11月30日（土）12月1日（日）  
会場：福岡国際会議場  
学会長：瀬戸 寛子（九州大学）

名誉会長：園田 康平（九州大学）

テーマ：「Vision for the future ～みる力～」

参加者 1656名（会員 1046名 非会員 498名 学生 112名）

2) 第61回（2020年）学会開催準備

会期：2020年10月3日（土）～4日（日）

会場：札幌コンベンションセンター

学会長：藤井 美奈子（手稲溪仁会病院）

名誉会長：鈴木 康夫（手稲溪仁会病院 眼窩・神経眼科センター）

3) 第62回（2021年）学会開催準備

会期：2021年11月20日（土）～21日（日）

会場：東京国際フォーラム

学会長：南雲 幹（井上眼科病院）

名誉会長：井上 賢治（井上眼科病院）

(2) 日本臨床眼科学会視能訓練士プログラムを開催し、次年度の開催準備を行った。

1) 第73回日本臨床眼科学会視能訓練士プログラム開催

会期：2019年10月24日（木）～27日（日）

会場：国立京都国際会館、グランドプリンスホテル京都

テーマ：「後天内斜視の診断と検査のポイント」

オーガナイザー 牧野 伸二（自治医大） 松本 富美子（近畿大）

参加者：812名（生涯教育単位取得者：269名）

2) 第74回日本臨床眼科学会視能訓練士プログラム開催準備

会期：2020年10月15日（木）～18日（日）

会場：東京国際フォーラム

テーマ：「重複障害がある小児の視機能評価」

オーガナイザー：富田 香（平和眼科） 新井 千賀子（杏林アイセンター）

(3) 第73回日本臨床眼科学会インストラクションコースに「斜視の視能訓練」をテーマとしたプログラムを企画し、開催した。

参加者：400名

## 2. 講習研修事業

(1) 講演会を開催し、次年度の開催準備を行った。

1) 第35回講演会開催 2019年6月2日（日）：ヒューリックホール東京

講演内容：「ICTを活用したロービジョンケア」

演 者：林 知茂（国立障害者リハビリテーションセンター病院）

参加者：687名（会員585名 名誉会員1名 非会員6名 ジャコメイト95名 学生0名）

2) 第36回講演会開催準備を行った。 2020年6月7日（日）：大阪商工会議所

(2) 研修会を開催し、次年度の開催準備を行った。

1) 第18回研修会開催 2019年6月2日（日）：（東京）第35回講演会と併催した。

研修内容：「視覚障害者認定基準の改正点と視野評価のポイント」

参加者：687名（会員585名 名誉会員1名 非会員6名 ジャコメイト95名 学生0名）

2) 第19回研修会開催準備を行った。 2020年6月7日(日) : (大阪) 第36回講演会と併催

### 3. 教育事業

(1) 視能訓練士生涯教育制度の各教育プログラムを実施した。

#### 1) 新人教育プログラム

##### 講義日程

2019年7月14日(日)・15日(月・祝) CIVI研修センター秋葉原(東京)

受講者 107名(うち聴講3名)・全員修了

2019年9月15日(日)・16日(月・祝) 難波御堂筋ホール(大阪)

受講者 73名(うち聴講2名)・全員修了

#### 技術日程ブロック単位開催

北海道ブロック 希望者なく実施せず

#### 東北ブロック

10月13日(日) 視野検査 東北文化学園大学

台風19号上陸により、2020年2月23日(日)に延期

10月14日(月・祝) 両眼視・眼位・眼球運動検査 東北文化学園大学

台風19号上陸により、2020年2月24日(月・振休)に延期

2020年2月23, 24日に延期したが、同日は新型コロナ(COVID-19)感染拡大防止のため開催中止とした

11月17日(日) 視力・屈折検査 東北文化学園大学

#### 関東甲信越ブロック

8月4日(日) 視力・屈折検査 帝京大学医療技術学部

12月15日(日) 視野検査 帝京大学医療技術学部

2020年1月19日(日) 両眼視・眼位・眼球運動検査 帝京大学医療技術学部

#### 東京ブロック

8月4日(日) 両眼視・眼位・眼球運動検査 帝京大学医療技術学部

12月15日(日) 視力・屈折検査 帝京大学医療技術学部

2020年1月19日(日) 視野検査 帝京大学医療技術学部

#### 東海・北陸ブロック

9月22日(日) 視野検査 真生会富山病院アイセンター

9月23日(月・祝) 視力・屈折検査 真生会富山病院アイセンター

9月29日(日) 両眼視・眼位・眼球運動検査 真生会富山病院アイセンター

#### 近畿ブロック

6月23日(日) 視野検査 神戸総合医療専門学校

8月25日(日) 両眼視・眼位・眼球運動検査 大阪医療福祉専門学校

9月1日(日) 視力・屈折検査 関西医科大学附属病院

#### 中四国ブロック

6月23日(日) 視力・屈折検査 川崎医療福祉大学

11月17日(日) 視野検査 川崎医療福祉大学

九州ブロック	2020年 2月16日(日)	両眼視・眼位・眼球運動検査	川崎医療福祉大学
	9月22日(日)	視力・屈折検査	福岡国際医療福祉大学
	9月23日(月・祝)	視野検査	福岡国際医療福祉大学
	10月20日(日)	両眼視・眼位・眼球運動検査	熊本大学医学部 山崎記念館
	受講者合計 341名		

## 2) 基礎教育プログラム

### 基礎教育プログラムⅡ 開催

2019年7月13日(土)・14日(日)・15日(月・祝) CIVI研修センター秋葉原(東京)

受講者 140名(うち聴講1名)・修了者 139名

2019年9月14日(土)・15日(日)・16日(月・祝) 難波御堂筋ホール(大阪)

受講者 79名(うち聴講1名)・修了者 78名

### 基礎教育プログラムⅢ 開催

2019年 11月 9日(土) 視能障害学 受講者 50名・全員修了

11月10日(日) 視能矯正学 受講者 50名・全員修了 機械振興会館(東京)

2020年 2月22日(土) 視能障害学

2月23日(日) 視能矯正学

CIVI研修センター新大阪北(大阪)

22、23日両日とも、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対策に鑑みて中止

## 3) 専門教育プログラムⅡ(視能検査学) 開催

2019年7月13日(土)・14日(日)・15日(月・祝) CIVI研修センター秋葉原(東京)

受講者 32名・修了者 31名

### 専門教育プログラムⅡ(眼鏡・光学) 開催

2019年9月15日(日)・16日(月・祝)

眼鏡医療技術専門学校ワールドオプティカルカレッジ(岡山/15日)

TKPガーデンシティ岡山(岡山/16日)

受講者 30名・聴講者 1名・修了者 30名

## (2) 公益財団法人医療研修推進財団が主催する実習施設指導者等養成講習会を後援した。

2019年 9月14日(土)・15日(日)・16日(月・祝) 大阪人間科学大学(大阪)

受講者 58名(会員 52名 非会員 6名)

## (3) 施設見学研修を行った。

実習施設指導者等養成講習会修了者(全修了者)が勤務する施設で、2019年9月～2020年3月の期間に希望者に対して施設の見学および研修を行った。

## (4) 国民に眼保健衛生に関する最新の情報を提供するため、ホームページやメール等を活用し会員に最新医療情報の提供を行った。(例：視覚障害認定基準の改定など)

## (5) 「眼科コメディカルビデオシリーズ」のDVDを希望者に貸し出し、技術研修に役立てた。

## その他の事業（相互扶助等事業）

視能訓練士の資質向上を目的とした自己研鑽を奨励し、学術技能を評価して認定および表彰する事業

### 1. 認定視能訓練士に関する事業

- (1) 視能訓練士生涯教育制度基礎教育プログラムを修了し、所定の条件を満たす者を「認定視能訓練士」と認定し、以後5年ごとに認定更新を行う。
- (2) 専任教員認定制度の認定条件を満たす者を「認定専任教員」と認定し、以後5年ごとの認定更新を行う。
- (3) 日本視能矯正学会にて認定視能訓練士セミナーを開催した。

### 2. 学術奨励賞に関する事業

- (1) 該当論文を選出し、第11回学術奨励賞を授与した。

2019年度に発行予定の日本視能訓練士協会誌第48巻に投稿された学術論文の対象論文から選考し、第60回日本視能矯正学会で学術奨励賞を授与した。

対象論文：16篇

選考結果：該当論文は以下の2篇

「眼器質疾患をもつ低年齢児に対するSpot™ Vision Screener」

石井 杏奈（国立成育医療研究センター）

「視能障害による自覚的歩行困難の評価方法についての検討」

正条 智広（川崎医療福祉大学大学院感覚矯正学専攻 / ツカザキ病院眼科）

### 3. 生涯教育に関する事業

- (1) 第60回日本視能矯正学会にて第10回生涯教育セミナーを行った。

受講者 463名

- (2) 第60回日本視能矯正学会にて第3回認定視能訓練士セミナーを行った。

受講者 140名

「附記」

2019年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な項目」が存在しないので作成しない。

以上